

2008年2月1日

河合蘭 / 妊娠・出産・育児サイト「ベビカム」 共同企画調査

## 産科医不足と妊婦健診をめぐる実感調査 1100人の妊婦・母親の声

出産ジャーナリスト 河合蘭

妊娠・出産・育児サイト「ベビカム」(株式会社デジタルブティック)

昨今、産科医不足により産科の閉鎖が相次ぎ、残った出産施設では妊婦の集中による混雑のため、さまざまな問題が起きています。そこで、出産ジャーナリストの河合蘭と妊娠・出産・育児サイト「ベビカム」を運営する株式会社デジタルブティック(代表取締役 安西正育)との共同企画により、『産院不足についてあなたの実感していること / 実感したこと』の調査(Webアンケート)を実施し、母親たちの困窮の実態及びその現実に対する母親たちの感じ方を探りました。その集計結果がまとまりましたので、ここに概要をお知らせします。

### 調査概要

#### 【1次調査】

- ・調査対象者：妊娠・出産・育児サイト「ベビカム」の  
リサーチサービス「ベビカム VOICE」の登録会員(アンケートモニター会員)
- ・調査エリア：全国
- ・調査手法：ベビカム VOICE 会員に対し、本調査への回答を勧誘するメールを配信し、  
Web アンケート画面へ誘導
- ・調査実施期間：2007年11月29日(木)～12月4日(火)
- ・メール配信数：9,879通  
有効回答者数：1,064人(うち、初産妊娠中158人、出産経験あり906人)  
レスポンス率：10.8%  
のべ出産件数：1,095件(出産経験あり906人中31人が現在の妊娠についても回答)

#### 【2次調査(長野県・岩手県)】 本報告では、フリーアンサーのみを納めています。

- ・調査協力者：〔長野県〕出産・育児ママネットワーク パム / お産といのちを守る会 /  
心あるお産を求める会 / 宇敷香津美  
〔岩手県〕松田希実
- ・有効回答者数：58人

## 河合 蘭 (かわい・らん)

1959 年東京生まれ。出産専門のジャーナリストとして、現代の女性が親になる前後に抱える心身の問題、産科医療の問題を追う。著書に『助産師と産む - 病院でも、助産院でも、自宅でも』（岩波ブックレット No.704 岩波書店）『未妊 - 「産む」と決められない』（NHK 出版）『お産選びマニュアル いま、赤ちゃんを産むなら』（農文協）

【公式サイト】<http://www.kawairan.com>

All About 「出産医療・産院選び」<http://allabout.co.jp/children/birth> ガイド。

出産・育児情報サイト「REBORN」<http://www.web-reborn.com> 代表。

株式会社デジタルブティック <http://www.digiboutique.or.jp>

所在地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-18 矢倉ビル 5F

設立：1996 年 2 月 20 日

代表取締役：安西正育（あんざいまさやす）

### 【会社概要】

1998 年に開設した日本最大級の妊娠・出産・育児のコミュニティサイト「ベビカム」(会員登録数 9.2 万人、月間訪問者数 40 万人以上)の企画・運営をはじめ、携帯電話で毎日タイムリーな育児情報を届ける「smartMAMA」の運営、Web と連動した季刊誌「ベビカムマガジン」の発行、各種イベントの開催などにより、妊娠中や育児中のママたちをサポート。

また「ベビカム」の企画・運用技術を生かし、本田技研工業のコミュニティサイト展開をはじめ、数多くの大手企業に向け、コミュニティの企画コンサルティング、携帯電話の活用、マーケティング、制作、運用サービスなどを提供中。

1)



2)



3)



1) 妊娠出産育児のコミュニティサイト「ベビカム」<http://www.babycome.ne.jp>

2) 会員数 14,000 名、妊婦率 5% のリサーチサイト「ベビカムVOICE」

<https://b-voice.bkmarket.com/>

3) 河合蘭公式サイト

<http://www.kawairan.com>

## 目次

### 分娩取り扱い施設の減少 ..... 1 ~ 5 ページ

出産したいと思った出産施設を「満員」「分娩中止」などの理由であきらめた人は年々増加傾向。全国では 10 人に 1 人。

産科閉鎖が特に多い地域では、4~5 人に 1 人が「満員」「分娩中止」などによるあきらめ体験を持つ。

「産院が選べない」と感じる人は、全国では 1 / 3。困窮している地域では 4~5 割。

妊娠前から産院情報を集めることが必要。でも、準備して妊娠しても「早い者勝ち競争」に勝てるかどうかはわからない。

### 出産施設までの距離 ..... 6 ~ 8 ページ

母親たちは 15 分圏内の施設で産みたがっている。30 分圏を出ると初産の人では 7~8 割が、出産経験者でも 5~6 割の人が陣通時に間に合わない不安や、家族の負担を感じる。

9 割以上の人が 30 分以内の施設で出産している。その一方で、「通院は 1 時間 30 分が普通」という町もある。【2 次調査・岩手】

正常出産は何とかできてもハイリスク出産の受け皿が消える町もある【2 次調査・長野】

### 混雑する妊婦健診 ..... 9 ~ 11 ページ

妊婦健診は 9 割以上が「大切なこと」と感じていて、重要性はよく理解されている。

妊婦健診の平均待ち時間は平均 49.9 分。60 分を超えると妊婦健診に「行くと疲れる」という印象を持つ人が 8 割。

妊婦健診の診察時間は平均 15 分。出産施設数の少ない地域では時間が短くなる兆し。

健診に負担感が大きいと、「行くと安心できる」と感じる度合いも下がる。

## 「未受診妊婦」と健診費用 ..... 12 ~ 14 ページ

妊婦健診の通常のコ用は平均 4,691 円。だが、検査数が多い等で思いがけず高額になつたときの平均は 11,581 円で、この額が高いと未受診につながりやすい。

妊婦健診に行かないことがあつた人は全体の 3.8%。理由は「お金」「自信」「待ち時間」。

## 助産師外来 ..... 15 ~ 17 ページ

助産師が行う妊婦健診は診察時間が 30 分前後で医師健診の 2 倍以上。

「忙しそう」な印象が少なく「励まされる」「質問しやすい」が大幅に上がる。

助産師外来について「産科医がいないと不安」と答えた人は、出産経験者では 9.9%に留まる。

## オープンシステム ..... 18 ページ

オープンシステムについては、4 割近くが「妊婦健診と出産施設は同じでないと不安」

付録 1 : 対象者のプロフィール (居住地・年齢・出産施設の分布と厚労省統計との比較)

2 : 本アンケート実施時の呼びかけ文

3 : 回答者から医療関係者へのメッセージ

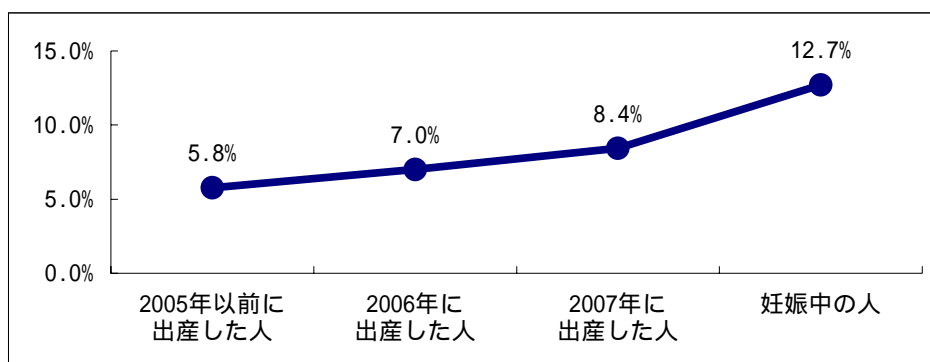
以上

## 分娩取り扱い施設の減少

出産したいと思った出産施設を「満員」「分娩中止」などの理由であきらめた人は年々増加傾向。全国では10人に1人。

「あの産院で産もう」と思っていたところ、施設側から拒まれた人に理由を聞いた。その施設では扱えないハイリスク妊娠と判断されて他へ行くように進められた例を除いて見たところ、「分娩中止になっていた」「中止予定なので分娩予約を受けない」「満員」「里帰りを受けない」等いわゆる「産科崩壊」の影響で希望が叶わなくなった人は年々増加傾向にある。その率は、2005年出産者では20人に1人程度だったが、調査時点で妊娠中の人では10人に1人強だった。

【全国】「満員」「分娩中止」などの理由であきらめた人 年次推移  
調査対象の出産件数（全国の出産経験者・妊婦の出産）1,095件



	断られた率
2005年以前に出産した人	260人中15人 (5.8%)
2006年に出産した人	243人中17人 (7.0%)
2007年に出産した人	403人中34人 (8.4%)
妊娠中の人	189人中24人 (12.7%)

産科閉鎖が特に多い地域では、4~5人に1人が「満員」「分娩中止」などによるあきらめ体験を持つ。

全国では10人に1人強があきらめ体験を持っていたが、これは地域差が大きいと思われる。今回の調査で、産科閉鎖が目立つ地域で、かつ回答者数が比較的多かったのは神奈川県だったのでその年次推移を見たところ、2007年に出産した人、妊娠中の人計54名は、ほぼ4人に1人があきらめ体験を持っていた。

「産院が選べない」と感じる人は、全国では 1/3。困窮している地域では 4～5 割。

自宅のある地域での出産を選んだ全国 976 名に、「自宅の周囲には選べるほど出産施設があるか」について実感を聞いたところ、2005 年以前出産者から現在妊娠中の人まで大きな変化はなく「多数あり選べる」「まあまああり何とか選べる」「選択肢がない、あるいはほとんどない」がそれぞれ 1/3 という結果だった。

しかし、回答者数は少ないものの神奈川県では「選択肢がない、あるいはほとんどない」という人が増加傾向だった。2007 年に神奈川県内で出産した 33 名、出産予定（妊娠中）の人 17 名では、4～5 割が「選択なし」「ほとんどなし」と答えており、困窮している地域では選べない人が増えている可能性がある。

全国の「自宅の周囲に選択肢がない、あるいはほとんどない」という実感を持つ人で里帰り出産しなかった 168 名のあきらめ体験を見ると（ハイリスク出産によるあきらめは除外）、17.3%が「あり」と答えていて、以下の表にある神奈川県の数値と近くなった。

【神奈川県】「満員」「分娩中止」などの理由であきらめた人 年次推移

里帰り出産ではない神奈川の出産経験者・妊婦 93 名

	断られた率
2005 年以前に出産した人	23 人中 2 人 ( 8.7%)
2006 年に出産した人	16 人中 0 人 (0.0%)
2007 年に出産した人	37 人中 9 人 (24.3%)
妊娠中の人	17 人中 4 人 (23.5%)
神奈川県の出産経験者・妊婦 計	93 人中 15 人 (16.1%)

【神奈川県】出産施設の選択肢はある？ 年次推移

里帰り出産者・「わからない」との回答者除く出産経験者・妊婦 75 名

	居住地に出産施設は多数あり、 条件や希望にあう所を選べる あるいは まあまあの数があり、 何とか選べる	居住地に出産施設は 少なく、選択肢はない あるいは ほとんどない
2005 年以前に出産した人 (22 人)	72.7%	27.3%
2006 年に出産した人 (13 人)	61.5%	38.5%
2007 年に出産した人 (33 人)	51.6%	48.4%
妊娠中の人 (17 人)	58.8%	41.2%

妊娠前から産院情報を集めることが必要。でも、準備して妊娠しても「早い者勝ち競争」に勝てるかどうかはわからない。

妊娠前から地域の産院情報を把握していれば産院を探す時間が省ける。それゆえ「満員」と断られる率は低くなり、あきらめ体験は少なくなりそうだが、今回の調査で、妊娠前の情報収集とあきらめた体験の関係を見たところ、あきらめ率が減る傾向はなかった。事前に情報を収集しても、それが分娩施設の少ない地域の人気産院だとあまりにも早い時期に分娩予約が埋まってしまうようである。

「妊娠4～5週（妊娠判定薬で判定できるぎりぎりの時期）で予約が満杯」という話は人気産院では実際によく聞くので、今回の調査では分娩予約をした時期を聞いた。すると妊娠4週で予約をした人は調査対象の全妊娠件数1095件中32件、5週では46件と、合わせて全体の4%ですすがに多くはなかった。予約の時期は多様だった。妊娠のごく初期に動く人がいる一方、のんびりした人もいる。妊娠5ヶ月ごろに予約をしたという人も妊娠2ヶ月、3ヶ月時点それぞれの予約と同程度に多く、フリーアンサーを見ると、この中には、「お産難民」などテレビの中の話と侮り、「前回のお産では何ともなかった」とのんびり行動したところ思わぬ苦戦をした人が含まれていることが分かる。

事前に情報を得ることに意義がないわけではなく、吟味した末の産院で予約が取れればそれに越したことはない。だが、全員が椅子にすわれるわけではない。第2、第3の候補を立てて考えたり、特に希望した施設でなくてもそこで人間関係を暖め、現実と希望をすりあわせていく力が求められる時代だ。

#### 【フリーアンサーから】

こんなに困りました！

住んでいる場所の近くに評判の施設があったため、そこで産みたいと妊娠前から考えていたが、妊娠がわかったとき（妊娠7～9週目ぐらい）にはすでに出産予定日あたりの予約は受けつけていなかった。人気の病院だから仕方がないと受け入れ、里帰りを含めて産院を探した。

〔大阪府大阪市都島区（里帰り先；広島県広島市安芸区） 26歳 子ども2ヶ月〕

キャンセル待ち予約だけでも・・・と思い診察も受けたが、相談すらしてもらえなくて途方にくれました。

〔東京都中央区（里帰り先；埼玉県富士見市） 33歳 妊娠中〕

現状だと分娩予約は早い者勝ちという悲しい現実が待っています。

〔神奈川県川崎市宮前区 30歳 妊娠中〕

妊娠する前から病院を選んでおかないと、妊娠してから2ヶ所以上回って探すのは無理。妊娠4週で分娩予約するという場所も増えているようなので、初診ですべてが決まってしまう感じです。

〔神奈川県横浜市金沢区 29歳 子ども26ヶ月〕

早いところだと、妊娠5週ぐらいで分娩予約を締め切ってしまうようですが、まだ妊娠に気づかない人もいるぐらいの時期なのに、ある意味不公平だと思う。母子手帳交付時などに、市区町村で月出産予定の人数を把握するなどして、その人たちは必ず出産できるように行政が協力するべきだと思う。

〔神奈川県川崎市 30歳 妊娠中〕

今回は運良くすべりこみで近くの病院を予約できたので良かったが、次がとても不安。

〔埼玉県川口市 32歳 妊娠中〕

本などではさまざまな出産方法が紹介されているが、実際に出産方法を選択できるほどの産院数が近くに無いから理想のお産を求めるのは無理。

〔埼玉県さいたま市（里帰り先；京都府京都市伏見区） 31歳 妊娠中〕

新しい病院で実家から近かったし、出産するならこの病院にしよう！と、妊娠する前から決めていました。人気があったのは分かっていたけど、里帰り出産は受けつけないと言われ、差別されたようでショックでした。

〔秋田県横手市（里帰り先；岩手県花巻市） 27歳 子ども23ヶ月〕

出産できる場所が少なくなっているというが、実際に「困るだろうな」「大変だろうな」と思ったのは、自分が妊娠・出産を経験したからだと思います。男の人や出産未経験の女の人にも何とか理解をしてもらえるような（この事実に興味をもってもらえるような）呼びかけの工夫が必要だと思います。

〔北海道札幌市北区 29歳 子ども4ヶ月〕

## 二人目（以降）の妊娠で油断して出遅れた

ちょうど出産できる場所が減っているときにあたり、予約ができないことに驚き焦ったあと、お産難民の問題がテレビや新聞などで報じられた。知っていればもっと早く対応して、行きたかった産院で産めたかもしれないと思うと今でもたまに悔しく思う。

〔神奈川県川崎市高津区（里帰り先；島根県松江市） 38歳 31ヶ月〕

1人目をその病院で産んでいたという経験から、その病院以外は頭になかったのであ然とした。先生やスタッフの対応、病院の清潔感すべてにおいて満足していたので非常に残念です。

〔愛知県名古屋市（里帰り先；愛知県春日井市） 30歳 子ども12ヵ月〕

第1子を産んだ産院でした。とても腕の良い先生でした。しかし70歳代という高齢の上、助産師の数もひじょうに少ないため、分娩を取りやめてしまったそうです。他にも希望した産院が分娩を取りやめていたため、正直「こんなに病院探しで苦労するのなら、妊娠なんてしなければ良かった。もう二度と子供は産まない!」と思いました。

〔山梨県西八代郡市川三郷町 32歳 子ども8ヶ月〕

「お産難民」などとは無縁だった

地域格差が大きいのか、現在住んでいる所は15分圏内でも選択肢が多く、混雑は感じますが、世間で言われているような緊急事態が感じられるほどではありません。恵まれているのかな?と思います。

高齢出産人口の増加、食生活の変化、都市型生活による体力の低下など現代の状況がリスクのある出産を増やしているような気がするのと、核家族化による相談できる人の居ない生活で、多少のことでも心配になってすぐに病院に頼ってしまうというような事もあるのではないのでしょうか。このあたりが更に医師不足や診察時間の短縮、助産師さんが診察する、といった状況になることを助長しているのかな?とも思います。

〔東京都渋谷区 26歳 妊娠中〕

あきらめ派

産婦人科は24時間体制で忙しいし、裁判なども多いと聞いたから、精神的、肉体的に強くないとできないし、少子化で出産する人が減り設備の維持費や人件費など金銭的にも大変で続けていけないのではないかと思う。残念だし、困る人もいると思うけど、今の世の中では仕方ないと感じます。

〔福岡県福岡市博多区 21歳 妊娠中〕

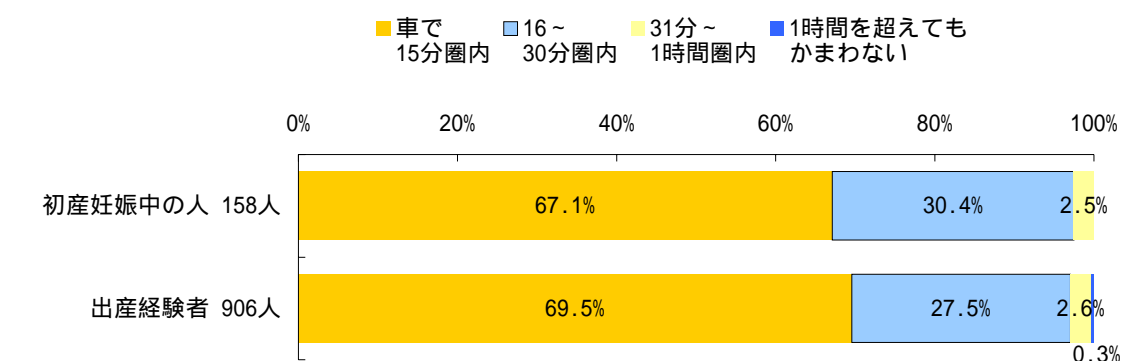
## 出産施設までの距離

母親たちは車で 15 分圏内の施設で産みたがっている。30 分圏を出ると、8~9 割の人が陣痛時に間に合わない不安や、家族の負担を感じる。

遠くてもいい、と思えば出産施設の選択肢は自ずと広がる。しかし、ほとんどの母親はそうしていない。車で 15 分圏内の出産施設で分娩予約した人のパーセンテージは、2005 年以前に出産した人の 63.5%から 2007 年に出産した人では 56.4%まで低下していたものが、妊娠中の人では 63.1%と増加しており、自宅・実家から近い施設を予約する傾向が再び強まっている。

今回の調査において母親たちが希望した理想の通院距離は「15 分圏内」で、極めて近い距離を望んだ。距離と不安の関係について聞いたところ、産院が遠い時に感じる最も大きな不安は「陣痛時に間に合うか」だった。この不安は、通院時間 30 分を境に急上昇した。初産では上がり方が大きく、30 分を超える通院時間の人では「不安を感じる」「とても感じる」が合わせて 66.7%に上る。この数字は、陣痛中の移動を経験済みの出産経験者でも 56.1%と過半数に達した。通院時間 30 分以下でもこの不安を感じる人はいるが、出産経験者で 16.2%、初産でも 18.9%にとどまっており、30 分という線は、女性にとって安心のボーダーラインと考えられる。

### 分娩する施設までの望ましい距離



	車で 15分圏内	16~ 30分圏内	31分~ 1時間圏内	1時間を超えても かまわない
初産妊娠中の人 158人	67.1%	30.4%	2.5%	0.0%
出産経験者 906人	69.5%	27.5%	2.6%	0.3%

また、遠距離出産では入院中のお見舞いが困難になる。「家族が通院する際の負担」についても、やはり 30 分を境に感じる人が急増した。通院時間 30 分超では、家族が通院する際の負担を「感じる」「とても感じる」が合わせて初産で 77.8%、出産経験者でも 53.7%に上る。

#### 【フリーアンサーから】

近所にあった産院は、ほとんどが分娩をやめたり無くなったりしてしまったので、少し離れたところでしょうがなく通院出産しました。予定日超で入院し、陣痛が全く来ず、数日後の早朝に胎児が危なくなり緊急手術になりましたが、夫や母の会社から遠く、到着を待たずに始めるしかありませんでした。無事だったのでよかったです、もし何か起きていたらと思うとやはり少しでも近い方が安心できるのにとつくづく思いました。

〔愛知県海部郡大治町 28 歳 子ども 8 ヶ月〕

全国では 9 割以上の方が 30 分以内の施設で出産している。

その一方で「通院は 1 時間 30 分が普通」という町もある。

2007 年に出産した人、妊娠中の人で見ると、30 分圏内に自分の出産する施設が入っている人はそれぞれ 90.5%、93.0%だった。大半の人は不安のない距離で産んでいることになる。だが、30 分圏内にただひとつの出産施設もない地域も静かに増えている。

そうした地域のひとつとして、【2 次調査】において、回答者が少数ではあったが岩手県遠野市の状況を見た。遠野市は周囲をぐるりと山に囲まれ、冬季には積雪もあり気温は零下 15 度以下となる。しかし最も近い出産施設まで 1 時間ほどかかり、30 分圏内で出産する選択肢はどこにもない。里帰り出産せずに出産（予定）の回答者 7 名が分娩予約した施設までの所要時間は、31 分～1 時間圏が 1 名、1 時間 30 分圏が 5 名、2 時間圏が 1 名だった。

#### 【岩手県遠野市を対象とした 2 次調査のフリーアンサーから】

私には 3 人の子どもがおりますが、3 人とも産んだ病院が違います。1 人産むたびにその病院の産科が閉鎖されていったからです。産むところが近ければいいのかといえばそれは違うと思いますが、「安心して安全なお産をしたい」という当たり前の願いを持つことが難しいという現実は妊婦にとって精神的な負担が大きいです。

〔岩手県遠野市 35 歳 子ども 24 ヶ月〕

住む地域によっては、健診通いに 1 時間以上かかることが普通になってしまっている。雪のない季節はそれでも何とかかなと思うが、雪道の通院、入院はかなり負担に感じている。実際、主人は 1 人目の出産に立ち会うために産院に駆けつけた時、軽い事故にも遭った。

〔岩手県遠野市 36 歳 子ども 18 ヶ月〕

安心して出産できる病院が増えてくれれば、それに越したことはないと思いますが、それがむずかしいのであれば、せめて緊急の時に受け入れてもらえる場所だけでも近くにあったら、出産の際の不安も少し軽減されると思いました。私の場合、病院が70キロ離れていたため、通常のお産であればなんとか間に合うと思っていましたが、トラブルがあったらどうしようという不安は常にあったので。

〔岩手県遠野市 34歳 子ども13ヶ月〕

家から車で1時間半と、遠い病院で帝王切開で出産し、1人でいる時間が多かった私。毎日のように病室に顔を出してくれた先生に感謝しています。顔色がいいね！赤ちゃん元気？お世話はできてる？調子はどう？・・・些細なことでもすごく嬉しかったです。

〔岩手県遠野市 31歳 子ども20ヶ月〕

正常出産は何とかできてもハイリスク出産の受け皿が消える町もある

岩手と同時に【2次調査】を行った長野県上田市ではハイリスク出産に対応できる病院に麻酔科がなく、長野病院引き揚げにより産科存続も危うい。救命の砦となる施設が消えることに大きな不安が広がっており、「産み控え」を感じさせるコメントが多かった。

【長野県を対象とした2次調査のフリーアンサーから】

自分が出産を終えると同時に、この地域での産科医不足や産科休科が報道され、次のお産はどこでできるのか、また緊急時の受け入れ先はあるのか、非常に心配です。子どもを妊娠してはいけないのでしょうか？また、万が一自分は分娩施設を見つけられたとしても、同じ地域で分娩施設を見つけられない人がいては、心苦しさを感じると思います。

〔長野県上田市 32歳 子ども3ヶ月〕

現在の上田市のお産の状況は、非常に厳しいです。このままではいつか死者がでてしまうのではないかと、不安でたまりません。妊娠するのにも勇気がいる状態です。

〔長野県上田市 29歳 子ども40ヶ月〕

子どもが2人いますが、どちらのときも出血で入院しているのに、長野病院がなくなるのは不安です。

〔長野県上田市 31歳 子ども9ヶ月〕

3人目の妊娠・出産は無理だろうと思っています。

〔長野県上田市(旧小県郡丸子町) 31歳 子ども24ヶ月〕

## 混雑する妊婦健診

妊婦健診は9割以上が「大切なこと」と感じていて、重要性はよく理解されている。

妊婦健診の印象について聞いたところ、「大切なことだと感じる」という項目について、初産妊娠中の人の74.1%、出産経験者の57.5%が「とても感じる」と答え、「感じる」を合わせると初産妊娠中で98.7%、出産経験者で94.2%となった。そして実際にも、今回の調査対象の出産件数1095件のうちの1053件(96.2%)で、一度も欠かすことなく受診されていた。妊婦健診を受けなかったことがあるのは42件(3.8%)で、うち一度も受けていない事例は4件(0.4%)だった。

昨夏、奈良で未受診妊婦が救急搬送の際なかなか受け入れてもらえなかったという報道は、「産む側も自分の行動に責任をとるべき」という声を呼んだが、普通の妊婦は、健診には万難を排して行くものである。ほとんどの妊婦は、健診に行っていない人がいることに驚いただろう。

しかしその一方で、健診についてのマイナス印象も小さくなく、多くの方が負担を感じながら受診している。フリーアンサーには「行かない人の気持ちもわかる」「経済状況によっては行けないだろう」という未受診者への共感も散見され、今の状況が続けば、今後、未受診妊婦が増加する可能性はある。

妊婦健診の印象（出産経験者・初産妊娠中の人、計1,064人）

	とても感じる	感じる	あまり感じない	感じない	未受診
大切なことだと感じる	60.0%	34.9%	4.6%	0.3%	0.3%
待ち時間が長い	41.7%	30.8%	21.5%	5.6%	0.3%
お金がかかる	63.1%	31.0%	4.3%	1.3%	0.3%
行くと疲れる	22.3%	31.8%	37.1%	8.6%	0.3%
行くと安心できる	50.6%	44.5%	4.0%	0.7%	0.3%

妊婦健診の平均待ち時間は、2007年出産者では49.9分。

60分を超えると妊婦健診に「行くと疲れる」という印象を持つ人が8割。

妊婦健診の待ち時間は45～50分前後で推移し、今回の調査では意外にも延長傾向は見られなかった。2007年に出産した403名の平均待ち時間は、49.9分だった。2005年の時点ですでに産科医は限界の人数を診ていて、その後は分娩制限という形が増えたので全体の待ち時間は変化していないのかもしれない。

長くなっていなくても、この平均時間は短くはない。待ち時間が60分を超えると、妊婦健診について「行くと疲れる」と感じる人が「とても感じる」「感じる」合わせて75%を超える。神奈川県のアverage待ち時間は60分前後で推移している。

### 妊婦健診の待ち時間 年次推移

出産件数 1,091 件について 調査対象の出産件数 1,095 件から、妊婦健診を全く受けたことがない4件を除く

	15分以内	16～30分	31～60分	61～90分	91～120分	120分超	平均(分)
2005年以前に出産した人(258人)	16.3%	27.1%	32.9%	13.6%	7.8%	2.3%	52.5
2006年に出産した人(243人)	16.5%	33.3%	35.4%	8.6%	4.5%	1.6%	46.5
2007年に出産した人(403人)	14.4%	34.2%	30.5%	11.9%	6.7%	2.2%	49.9
妊娠中の人(187人)	24.6%	29.9%	27.8%	10.7%	5.9%	1.1%	44.1

### 待ち時間別 「行くと疲れる」と答えた人の割合

出産件数 1,091 件について 調査対象の出産件数 1,095 件から、妊婦健診を全く受けたことがない4件を除く

	とても感じる	感じる	あまり感じない	感じない
15分以内(186人)	4.3%	21.0%	51.1%	23.7%
16～30分(345人)	11.9%	33.9%	47.2%	7.0%
31～60分(346人)	27.7%	38.2%	29.5%	4.6%
60分超(214人)	46.3%	29.0%	20.6%	4.2%

妊婦健診の診察時間は平均15分。出産施設数の少ない地域では時間が短くなる兆し。

診察時間の平均もあまり変化していない。分娩が集中しても一人ひとりの健診には以前と同じ時間をかけようとしている医療者の姿勢が現れているが、これが受診者が著しく増えた施設になると、結果的にトータルの診療時間は長引き、2時間以上待つような病院が現れることになる。医療者も、妊婦も、共に耐えている姿が浮かぶ。

出産施設の少ない地域ほど、診察時間は短めになる兆しがある。大幅な短縮でないのは、これもすでに限界に近づいた値なのかもしれない。

### 自宅のある地域の出産施設数と診察時間

里帰り出産者・「わからない」との回答者除く出産経験者・妊婦 613 名

	15分以内	16～30分	31～60分	60分超	平均(分)
「出産施設は多数ある」の人(188人)	74.5%	22.3%	2.1%	1.1%	15.4
「まあまあ数がある」の人(258人)	80.2%	18.2%	0.8%	0.8%	14.4
「選択肢はほとんどない」「ない」の人(167人)	80.8%	15.6%	3.6%	0.0%	13.6

健診に負担感が大きいと、「行くと安心できる」と感じる度合いも下がる。

妊婦健診の印象として選択肢に挙げた「行くと安心できる」について「感じなかった」「あまり感じなかった」とする人は、妊婦健診未受診を除く出産件数 1091 件のうち合わせて 50 名(4.6%)と少数だが、このグループには負担感につながるさまざまな要素があった。通院距離、施設の種別(病院か診療所か助産院か)、通常の場合の費用には行くと安心できたグループと大差は見られなかったが、まわりに選べるほど出産施設があったかどうかとはやや関係があり、もっと大きな差があったのは待ち時間と高額時の費用だった。

待ち時間が 60 分を超える人は、健診について「行くと安心できる」と「とても感じる」人たちのグループで 18.6%、「感じる」人たちで 19.3%だった。これに対して、「感じない」あるいは「ほとんど感じない」と答えた人たちのグループでは、待ち時間が 60 分を超える人は 34%にも達していた。待ち時間の平均は 63.6 分で、全体の平均 48.7 分の 1.4 倍長かった。費用については次に述べる。

#### 【フリーアンサーから】

現在健診のため通院中ですが、1 人目の時よりもさらに患者数が増え、病院側の負担がかなり重くなっているように思います。お産が重なった場合スムーズに出産できるのかも不安です。待ち時間もかなり長くなり負担ですが、他に産院がないため病院を変えることはできません。

〔埼玉県さいたま市桜区 27 歳 子ども 17 ヶ月〕

思いがけず 16 年ぶりに妊娠し、ひとつごとのように考えていた産科不足を身に染みて感じています。診察までに 2 時間以上、会計にも 1 時間待つこともあり本当に疲れます。自分の娘が子どもを産む頃には、こんな思いをしなくて済むように改善して欲しいです。

〔滋賀県彦根市 42 歳 妊娠中〕

待ち時間が長すぎます。予約制であっても 2~3 時間待ったこともありました。仕方ないとは思いますが身重にはとても辛い時間でした。

〔茨城県下妻市 32 歳 子ども 3 ヶ月〕

混雑する健診の日は、助産師や看護師が順番で患者を呼ぶ際に「お待たせして、ごめんなさいね。」と声を掛けてくれる。その何気ない一言だが、その中に待たせて当たり前の産院ではなく、医師達の忙しさの中にも患者を気遣う気持ちが見えて、待つのは辛いですが、安心と信頼が生まれている気がします。

〔宮城県仙台市 29 歳 妊娠中〕

頼りにしているので、健診などは納得行くまで診てほしいし、時間に押される健診はやめてほしい。

〔愛媛県伊予郡砥部町 30 歳 妊娠中〕

## 「未受診妊婦」と健診費用

妊婦健診の通常のコ費用は平均 4,691 円。だが、検査数が多い等で思いがけず高額になつたときの平均は 11,581 円で、この額が高いと未受診につながりやすい。

検査の数が増えて妊婦健診のコ費用は高額化しつつある。それでも通常のコ費用は平均 4,641 円。通常のコ金額は 3,000 円ないし 5,000 円を超えると「負担感を感じる」という人が急増してくるものの、妊婦健診に対する認識、印象にはほとんど影響を与えておらず、「妊婦健診を欠かさず受けたかどうか」にも関連がなかった。

これに対し、高額になつたときの金額は、妊婦健診に行くとき安心するという気持ちや、健診を欠かさず受けるかどうかに影響していた。調査全体での高額になつたときの費用の平均は 11,581 円。妊婦健診の印象を尋ねた質問で、健診について「行くとき安心する」と思えなかった人の高額時の費用の平均は、13,346 円と全体より大幅に高くなつていた。

妊婦健診に行かないことがあつた人は全体の 3.8%。理由は「お金」「自信」「待ち時間」。

前述のように、妊婦健診を受けなかったことがある人は調査対象の出産件数 1095 件のうち 42 件 (3.8%) で、一度も受けていない事例はうち 4 件 (0.4%) だった。出産経験者で妊婦健診を受けなかったことがある 39 人にその理由を複数回答で尋ねたところ、「お金がかかったから」を挙げた人が最も多く、23 人 (59%) に上つた。

### 妊婦健診に行かなかった理由

出産経験者で妊婦健診を受けなかったことがある 39 人の、健診を受けなかった理由 (複数回答)

仕事が忙しかったから	6 人 (15.4%)
家事が忙しかったから	1 人 (2.6%)
施設が遠くて疲れたから	0 人 (0.0%)
待ち時間が長くて疲れたから	10 人 (25.6%)
お金がかかったから	23 人 (59.0%)
経過は順調だと自信があつたから	13 人 (33.3%)
上の子を連れて行くのは大変だったから	7 人 (17.9%)
その他の理由	10 人 (25.6%)

ここでも、健診の待ち時間が平均よりやや長い傾向があり、高額のコ検査がある日の費用が高い傾向があつた。健診料を支払つたことがない全く未受診の人を除いた「健診を受けないことがあつた」人 37 人の高額時費用の平均値は 13,405 円で、出産経験者全体の平均値 11,465 円の 1.2 倍だった。

### 出産経験者の健診費用の平均額

	通常の健診	高額になったときの健診
全体(全く未受診の人を除く;904人)	4,641円	11,465円
毎回欠かさず受けた人(867人)	4,638円	11,382円
受けないことがあった人(37人)	4,705円	13,405円

妊婦健診を一度も受けていない人「未受診妊婦」について、もう少し詳細に見る。前述のように全体で4名。うち1名は妊娠5週でこれから初診に行くところだったので実質3名(0.3%)だった。その中に1名、まだ若い経産婦がいた。この女性は、前回の出産では妊婦健診を受けていたが、通常のコスト6,000円だったところ高額時に20,000円を請求されるという経験をしていた。今回の第2子妊娠に際しては妊娠8ヶ月になっても全く未受診という状況であったが、前回妊娠時の高額な出費の経験が響いているのかもしれない。

妊婦健診のコストについて公的な対策を取るならば、高額時のコストについて考慮が必要かもしれない。また、「次回は検査数が多くなりますから、ふだんの健診よりもお金がかかりますよ・・・」といった事前のアナウンスが、出産施設で提供されるべきかと思われる。そのほか、高額になる理由に納得できていない不満の声も散見された。

### 【フリーアンサーから】

やはり妊婦健診費用は負担感が大きい

私の住んでいる町でも、健診が3,000円のところもあれば5,500円のところもあり、内容はほとんど変わらないのに、なぜ??と思う。1人目だからこまめに健診も受けて、安心をお金で買っているが、2人目3人目にもなると、健診を受ける回数も半分ぐらいに減るのではないだろうかと思う。

〔愛媛県伊予郡砥部町 30歳 妊娠中〕

お産難民が出るのもわかる気がします。母親のルーズさだけではないでしょうね。初診料だけでもせめて無料にするとか・・・やむをえない事情を抱えた人のためにももっと配慮がほしいです。

〔大阪府池田市 44歳 妊娠中〕

杉並区では今年から、一部負担して、産後に返金してもらう制度もできたが、産後すぐには外に出られないため、申し込みに行けるか不安もある。でも、せめて杉並区のように地域で補助を出し、少しでも子育ての環境を整えるべき。

〔東京都杉並区(里帰り先;東京都三鷹市) 34歳 妊娠中〕

健診を受けない妊婦さんがいるという事実も信じられないが、1回の健診料および出産費用が高額なので、自分も1回くらい健診に行かなくてもいいかなと思うときがある。

〔宮城県仙台市宮城野区 36歳 妊娠中〕

いや、健診に行かないなんてとんでもない！

最近は経済的な理由から妊娠時の定期健診を受けない人が増えてきていると新聞記事で知りました。おなかの赤ちゃんのためにも、自分のためにも絶対に健診を受けてほしいと思います。

〔大阪府豊中市 33歳 子ども12ヶ月〕

妊婦健診は毎回きちんと受けて、出産する病院・産院なども早めにきちんと予定して手続きしておくことはとても大事なことだと思う。自分がきちんと考えておかないと、妊娠月数が進んでから何かあった時に、病院や制度の責任にばかりはしてられないと思う。

〔徳島県徳島市 30歳 妊娠中〕

今、妊婦のたらい回しが言われていますが、これは病院が悪いのではなく自分が悪い！自分のかかりつけの病院があればたらい回しにされずに済んだ話。私は臨月でも1週間ごとに診察に行くのは経済的に困難で、2週間に1回とか給料日の後しか行けなかったですが、少なくともきちんと病院で診察を受けるべきです。

〔宮城県仙台市 25歳 子ども52ヶ月〕

健診は毎回数分で終わるものでした。その割には高額な費用がかかり、1回くらい受けなくても・・・と思うこともありました。でも、子どもの異常をより早い時期に発見し対処するという目的もあるので、きちんと受けたほうがいいと思います。健診費用さえ出せないのなら、これからかかる育児費用も出せないはず。そういう人は妊娠を見送る計画性を持つべきだと思います。

〔兵庫県神戸市東灘区 34歳 子ども25ヶ月〕

## 助産師外来

助産師が行う妊婦健診は診察時間が 30 分前後で医師健診の 2 倍以上。

「忙しそう」な印象が少なく「励まされる」「質問しやすい」が大幅に上がる。

法的に助産師も妊婦健診を実施できるため、産科医不足の中で助産師による妊婦健診をおこなうシステム「助産師外来」「院内助産院」を持つ出産施設が増えている。だが、全国の普及状況についてはまだ把握されていない。

病院あるいは診療所での出産(予定を含む)1068 件について、助産師と話せる場があったかを尋ねた結果を年次別に比較すると、「助産師外来、院内助産院があり、そこで話せた」と回答する人が増加傾向にあり、最新情報である 2007 年出産者、妊娠中の人の回答によると、2007 年に出産した人では 15.0%、妊娠中の人は 20.5%が、分娩予約した出産施設には「助産師外来、院内助産院と呼ばれるものがある」と回答している。

このことから、助産師外来、院内助産院がある出産施設は全体の 1~2 割と推測される。診察行為はしない「保健指導」も合わせると、助産師と話せる場があったのは病院あるいは診療所での出産件数の半数近くに達している。

その一方で、助産師が施設に勤務していることを把握していながら「話せる場はない」とした回答も 4 割前後みられた。勤務助産師は、ペーパーワークや他科の仕事に追われて妊婦と接触できる余裕がなくなっていると聞くと、人材の専門性が有効活用されているとは思われない状況だ。

助産師と話せる場はあった？(病院あるいは診療所での出産(予定を含む)1,068 件について)

	助産師外来、 院内助産院 があり、そこで 話せる(話せた)	産科医の診察後、 保健指導などと 称して助産師さんと 話せる時間が 設けられている(いた)	助産師さんは いるが(いたが)、 特に話せる場は ない(なかった)	助産師さんは いない(いなかった)ようだ、 いるか(いたか)どうか わからない
2005 年以前に出産した人 (250 人)	9.2%	36.4%	40.4%	14.0%
2006 年に出産した人 (239 人)	14.6%	36.8%	35.6%	13.0%
2007 年に出産した人 (394 人)	15.0%	32.7%	42.1%	10.2%
妊娠中の人 (185 人)	20.5%	22.2%	38.9%	18.4%

助産師と話せる場として「助産師外来、院内助産院があり、そこで話せる(話せた)」と回答し、かつ妊婦健診の担当者が「産科医、時々助産師」「助産師、時々産科医」「助産師のみ」のいずれかだった病院・診療所出産者 62 名のグループに、助産師による妊婦健診の

印象を聞いたところ、医師による診察の2倍以上に当たる50.1%が「質問しやすい」、45.2%が「励まされる」と答え、高い評価となった。「信頼できる」「出産のリスクが分かる」についても医師に引けを取らない数字で、「忙しそう」という印象は低下した。

健診の担い手としてまだなじみの薄い助産師が病院・診療所出産者からこれだけの評価を受ける理由のひとつは、診察時間にあると思われる。助産師の健診頻度が多い人ほど、診察時間の平均値が長い傾向があった。「産科医のみ」の13.6分に対し、助産師外来でよくみられる「基本助産師、時に医師」という形では28.2分と2倍以上になっている。

妊婦健診(主)担当者別 診察時間の平均(妊婦健診全く未受診を除く出産1,091件)

	平均
産科医のみ(829件)	13.6分
基本医師、時に助産師(219件)	17.0分
基本助産師、時に医師(32件)	28.2分
助産師のみ(11件)	31.8分

産科医による妊婦健診の印象(産科医の妊婦健診を受診したことのある出産経験者894名)

	とても感じた	感じた	あまり感じなかった	感じなかった
忙しそう	42.2%	38.1%	17.7%	2.0%
質問しやすい	21.1%	49.1%	25.2%	4.6%
信頼できる	31.4%	57.6%	10.2%	0.8%
励まされる	18.7%	44.2%	31.3%	5.8%
自分の出産のリスクがよく分かる	15.5%	40.5%	36.0%	7.9%

助産師外来の助産師による妊婦健診の印象 助産院出産者を含まず  
(助産師外来がある医療施設で出産し、健診担当者に助産師を含めた出産経験者62名)

	とても感じた	感じた	あまり感じなかった	感じなかった
忙しそう	21.0%	37.1%	40.3%	1.6%
質問しやすい	50.0%	43.5%	4.8%	1.6%
信頼できる	41.9%	51.6%	4.8%	1.6%
励まされる	45.2%	51.6%	1.6%	1.6%
自分の出産のリスクがよく分かる	22.6%	30.6%	40.3%	6.5%

「産科医がいないと不安」と答えた人は、出産経験者では9.9%に留まる。

「助産師外来、院内助産院についてどう思うか」という質問に対しては、「産科医がいないと不安」と答えた人は、初産妊娠中の人では16.5%、出産経験者では9.9%と1割以下にとどまり、実施が支持されているようだ。

初産と出産無経験者で助産師外来に対するとらえ方が違うのは、前述のように、助産師が妊娠中の関わりをほとんど持たない施設が 4 割もあるためと考えられる。そうした施設でも、陣痛中、産後の母乳ケアなどは助産師とふれ合う時間が長くなる。そのため、出産経験者は、未経験者よりも助産師について知っている。

助産師外来、院内助産院をどう思いますか？ 初産妊婦 158 名、出産経験者 906 名

	賛成。両方の メリットが 活かしてよい	メリットが あるなら 許容できる	産科医の 妊婦健診 でないと不安	わからない
初産妊娠中の人 (158 人)	31.0%	50.0%	16.5%	2.5%
出産経験者 (906 人)	40.0%	46.4%	9.9%	3.8%

【フリーアンサーから】

毎回の診察が助産師さんと話してから産科医と話すというスタイルで、助産師さんは女性なので質問しやすく、とっても良かったです。出産経験のある方に実際にいろいろ教えてもらえたことが、安心感につながりました。

〔北海道北見市 (里帰り先 ; 北海道札幌市) 28 歳 子ども 12 ヶ月〕

貧血や、赤ちゃんが小さめなど、不安でいっぱいだった時期の受診はとにかく不安でした。そんな時、受診後のお会計待ちをしていると、助産師さんが診察とは別に話を聞いて不安を取り除いてくれました。

〔長野県北安曇郡池田町 (里帰り先 ; 長野県塩尻市) 24 歳 子ども 7 ヶ月〕

1 人目の出産後、母乳が出にくいことを悩んで少しうつ状態でした。そんな時、乳腺マッサージをしてくださった助産師さんが、「何かあったらいつでも電話して来ていいのよ」と、自宅の電話番号をそっと渡してくれました。結局電話することはなかったのですが、精神安定剤のようですごく安心できました。

〔埼玉県和光市 32 歳 子ども 30 ヶ月〕

長男の時に、生まれてすぐ口唇口蓋裂がわかったうえに私が陥没乳頭だということで、あっさり母乳を断念させられたことがあり、それがトラウマになっていました。今の産院ではそのこともふまえて、助産師さんがいろいろと母乳準備のアドバイスしてくれたりもします。おかげで不安だった 2 人目出産も楽しみになってきました。

〔兵庫県神戸市 27 歳 子ども 46 ヶ月〕

助産師さんの話しやすさに助けられています。忙しい先生も、診察時には聞きたいことを遠慮なく聞けるので不安が少なくてすみます。

〔広島県福山市 31 歳 妊娠中〕

## オープンシステム

オープンシステムについては、4割近くが「妊婦健診と出産施設は同じでない不安」

高度医療の提供できる出産施設が全国的に人手不足に陥り、産科救急が危機的状態にある。そこで、リスクの低い人の健診は外部の診療所が引き受け、出産時のみ大きな病院へ行くなどする「(セミ)オープンシステム」の試行が始まっている。妊婦にとっても、近所のクリニックへ行けば通院が楽だというメリットがある。

期待されるシステムだが、今回の調査ではこのシステムについては賛成2割、許容4割、不安4割という結果になった。また実際の利用者から、分娩を扱わない施設の夜間救急対応について不安を感じている声が何件もあった。しかし、救急搬送の状況を改善することは誰もが願うことなので、母親へのさらなる説明や不安をなくす工夫が必要と思われる。

オープンシステムをどう思いますか？ 初産妊婦 158名、出産経験者 906名

	賛成。両方の メリットが 活かせてよい	メリットが あるなら 許容できる	妊婦健診と 分娩は同じ施設 でない不安	わからない
初産妊娠中の人(158人)	19.0%	39.2%	37.3%	4.4%
出産経験者(906人)	20.5%	39.1%	35.2%	5.2%

### 【フリーアンサーから】

オープンシステムを利用しています。2人目だと時間の制約もあるので、近いところが便利です。オープンシステムは健診の先生と分娩する医院の先生との信頼関係も重要だと思います。どれくらい実績があるのかも情報として分かたらいいと思います。

〔神奈川県横浜市旭区 31歳 子ども26ヶ月〕

オープンシステム自体は分娩施設が減少している昨今、妊娠中問題がなければ便利だと思う。しかし現実に私自身が1人目妊娠中、近所の産婦人科(徒歩10分程度)で健診のみ受診し、分娩は別施設で行ったが、妊娠中、週末に高熱を出しても、健診先の産婦人科は休診で連絡がつかなかった。緊急時には24時間連絡をとれるようにするべきだと思う。

〔東京都府中市 41歳 子ども22ヶ月〕

付録 1 : 対象者のプロフィール (居住地・年齢・出産施設の分布と厚労省統計との比較)

2 : 本アンケート実施時の呼びかけ文

3 : 回答者から医療関係者へのメッセージ

## 付録1 対象者のプロフィール

### 居住地都道府県（出産経験ありの人は、出産当時の居住地）

	埼玉 県	千葉 県	東京 都	神奈 川県	愛知 県	大阪 府	兵庫 県	福岡 県	その他 道府県
全体（N=1064）	7.7%	5.5%	16.4%	9.1%	6.3%	9.5%	4.7%	4.1%	36.7%
出産した母親人口 出生数 (平成18年人口動態調査)	5.6%	4.7%	9.3%	7.2%	6.4%	7.1%	4.5%	4.1%	51.1%

出生数の出典：厚生労働省平成18年人口動態調査

(1B 上巻 出生 第4.3表 都道府県別にみた年次別出生数)

[http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/data/010/2006/toukeihyou/0006067/t0134512/MB030000\\_001.html](http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/data/010/2006/toukeihyou/0006067/t0134512/MB030000_001.html)

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県や大阪府など大都市圏居住者が多い集団である。

### 年齢（％は横計に対するパーセンテージ）

	～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40歳 ～	平均
全体（N=1064）	0.1%	4.4%	27.7%	42.4%	21.2%	4.1%	31.6歳
初産妊娠中の人（N=158）	-	5.1%	32.9%	45.6%	13.9%	2.5%	30.9歳
出産経験のある人（N=906）	0.1%	4.3%	26.8%	41.8%	22.5%	4.4%	31.7歳

平成18年人口動態調査によると、2006年に第一子を出産した母の全国平均年齢は29.2才、政令指定都市では29.3才～30.9才。

### 出産施設（分娩予約した出産施設）（％は横計に対するパーセンテージ）

	大学 病院	国立・ 公立病院 など	民間の 病院	個人の 産科医院・ 産科クリニック	助産院 (自宅出産を含む)	分娩 予約 なし
延べ出産件数 (N=1095)	3.9%	18.1%	11.4%	58.4%	1.7%	6.5%
妊娠中の人（N=189） <small>初産妊娠中158人＋経産妊娠中31人の計</small>	3.7%	15.3%	11.6%	51.9%	0.5%	16.9% <small>まだ予約 していない</small>
出産経験のある人 (N=906)	4.0%	18.7%	11.4%	59.7%	2.0%	4.3% <small>予約なし で出産</small>

平成18年人口動態調査によると病院50.9%、診療所49.0%、助産院と自宅1.2%となっており、やや診療所出産が多い集団である。

## 付録2 アンケートをお願いした時の呼びかけ文

テレビや新聞でご覧になっているように、いま全国各地で出産できる場所がどんどん無くなっています。そして、残った出産施設には妊婦さんが集中し、あまりの混雑に医療やケアの質も低下してきたと言われますが、あなたはどんな経験をし、何を感じましたか。

このまま行けば、これからのお産はどうになってしまうのか、本当に心配です。

医師のかかえる問題は少し明るみに出てきましたが、産み場所が消えて困っている人・・・肝心のママたちの声は、まだほんの少ししか社会に届いていません。

あなたの声を、どうぞお寄せください。いただいた声は、たくさんの人に聞いてもらいたいと考えています。

河合 蘭

## 付録3 回答者から、医療関係者へのメッセージ

最後に、1,064人の皆さんから届いた、医療者への感謝の声のごく一部をご紹介します。

本当にいつ寝てるんだろうというほど忙しくて、見ている方が気の毒になるのに、嫌な顔ひとつせずきちんと見てくれます。体を大切にがんばっていただきたいです。

〔埼玉県川口市西川口 31歳 子ども5ヶ月〕

辛くて痛い治療を受け続け、待望の妊娠が分かった時、涙がとまらない私に対して先生やスタッフの方々が暖かく対応してくださったことにとっても感謝しています。お産難民とか悲しい言葉をよく耳にしますが、子供の少ないこのご時世、私はたくさんの子供を産みたいと思います。

〔大阪府枚方市 32歳 妊娠中〕

今まで出会った産科のスタッフは、皆イラつきを表にださない穏やかな人ばかりでした。当たり前のこととはいえ、それがどれだけ大変な事かもわかるだけに妊婦としては非常にありがたく思っています。いつもありがとうございます。

〔千葉県市川市 29歳 妊娠中〕

いつも忙しそうで、できるだけ協力しなければ・・・と思ってしまう。

〔大阪府吹田市 33歳 妊娠中〕

超音波検診が終わった後に、院長先生は必ず腕をつかんで起き上がらせてくれる。看護師さんも忙しそうだけど、笑顔で対応してくれる。いつもありがとうございます。

〔愛知県豊田市（里帰り先；熊本県熊本市） 30歳 妊娠中〕

笑わない先生で「お産職人」と言われている先生ですが、産まれたときに「よく頑張りました」と言ってにこっと笑ってくれました。泣けました。

〔大阪府東大阪市 32歳 子ども13ヶ月〕

里帰り出産の日まで逆子がとうとう治らなかったとき、それまで診てくださっていた先生が「うちでずっと診てきたのだから、ほかのところに行くのが不安ならうちで最後まで逆子を治す努力をして、治らなかったら手術はうちでやるよ。」と、最後まで責任を持つという意志を伝えてくれました。

〔埼玉県川口市（里帰り先；茨城県古河市） 25歳 妊娠中〕

健診に行った際、「今緊急オペになった方がいますので、しばらくお待ちください」とのことでした。1時間ぐらい待ちましたが、先生はいつも通り笑顔で「お待たせしましたね」と、診察して下さいました。先生こそ疲れているだろうに、本当にご苦労様です。

〔愛知県小牧市 32歳 妊娠中〕

私が夜中に出血して病院に飛び込んだとき、当直明けですごく疲れていたようなのに、すぐに病院に来て嫌な顔をせずに診察してくれた（すごく眠そうだったけど）。こういう先生が産科医を辞めずに済む / 病院を変わずに済むシステムになってほしい。

〔静岡県磐田市 32歳 子ども20ヶ月〕

生まれた子どもの出生体重が 2,500g 程で小さくて情けない思いをしていたら、「小さく産んで大きく育てればいいし」と言って、いろいろと励ましてくれました。その後、その先生が過労で倒れられたそうですが、労災認定されたと新聞報道で知り、安堵しました。分娩はもうなさっていないようですが、他の医療機関で復帰されたようなので、ご活躍をお祈りしています。

〔広島県呉市 37 歳 子ども 35 ヶ月〕

とても過酷な状況でのお仕事、お疲れ様です。どうぞ体に気をつけて、必要なこと（労働条件の改善・不当裁判についてなど）はもっとどんどんアピールして下さい。

〔千葉県柏市 30 歳 子ども 12 ヶ月〕

毎日の勤務ご苦労様です。これも新しい命の誕生の現場だからこそ続けられる事だと思います。病室から聞こえていた、新しい命の誕生の泣き声は、感動の連続でした。私自身、不妊治療の未授かった 2 人の子どもを大切に育てていこうと思います。

〔大阪府池田市 36 歳 子ども 9 ヶ月〕

立て続けに受け入れを拒否された後にダメ元で「里帰り出産お断り」の病院を受診しました。長い待ち時間を経て、初めて先生とお話したとき「ここに来るまでいろいろ大変だったね。でももう大丈夫だよ。」と言葉をかけられ、思わず涙があふれてきました。

〔東京都江戸川区（里帰り先；長野県佐久市） 24 歳 子ども 2 ヶ月〕

皆さんの支えのおかげでいいお産ができました。心からありがとう。

〔岡山県倉敷市 36 歳 子ども 12 ヶ月〕

以上

この調査に関するお問合せ・ご掲載については下記までお願いします。

株式会社デジタルブティック

広報担当：倉本淑子

prs@digiboutique.or.jp

Tel / 03 - 5774 - 1702 (10:00 ~ 19:00 土日・祝祭日を除く) Fax / 03 - 5774 - 1704

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 26 - 18 矢倉ビル5階